

人工膝関節置換術 火曜日手術 患者さんパスシート(No. 1)

氏名		診療科名	整形外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日



月日	/				
経過	1日目 入院日(手術前日)				
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術について理解しましょう。 麻酔について理解しましょう。 転倒・転落の危険性、予防方法について理解しましょう。 				
治療	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません。 				
薬	<ul style="list-style-type: none"> お薬を内服されている方は、入院時にお薬手帳と一緒に20日分までお持ちください。 医師、薬剤師が確認し継続するかどうか判断します。 				
検査	<ul style="list-style-type: none"> 13時から16時の間に麻酔科の診察があります。 				
処置	<ul style="list-style-type: none"> 弾性ストッキングのサイズを測ります。 手術する足の切毛を行います。 				
活動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありませんが、30分以上不在になる場合はお声かけ下さい。 				
清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワーを浴びて下さい。 				
食事	<ul style="list-style-type: none"> 21時から食べられません。 24時から水分を飲めません。 <p>(手術が午後の場合時は、6時まで水分がとれます)</p>				
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 医師より手術の説明を行います。 麻酔科担当医から麻酔科外来で麻酔について説明があります。 看護師より手術前後の処置や必要な物品、腓骨神経麻痺の予防について説明をします。(別紙1参照) 転倒・転落の危険性、予防について説明をします。 手術に使用するバスタオル、T字帯、各1枚に、お名前を記入してご準備下さい。 				



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

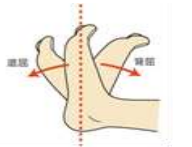
人工膝関節置換術 火曜日手術 患者さんパスシート(No.2)

氏名		診療科名	整形外科		
		入院予定期間	年	月	日

月日	/
経過	2日目 手術当日(手術前)
達成目標	<ul style="list-style-type: none">術前処置を受け、手術室に入る準備をしましょう。
治療	<ul style="list-style-type: none">10時以降に手術開始予定の場合は、手術室に行く前に点滴を行います。 
薬	<ul style="list-style-type: none">医師の指示で内服がある場合にはお伝えします。
検査	<ul style="list-style-type: none">ありません。
処置	<ul style="list-style-type: none">深部静脈血栓症予防のため、ストッキングを履いて手術室に向かいます。 
活動	<ul style="list-style-type: none">制限はありませんが、病室を離れる場合は看護師に声をかけ所在が分かるようにしてください。
清潔	<ul style="list-style-type: none">起床後、洗面、歯磨き、髭剃りを行きましょう。
食事	<ul style="list-style-type: none">午後の手術の場合は、朝6時まで水分をとることが出来ます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none">手術室に向かう前に、浴衣に着替え、深部静脈血栓症予防のストッキングを履きます。貴重品（指輪・時計・義歯・ネックレスなど）はご家族に預けるか、ご家族が来院されない場合は金庫の鍵は看護師にお預けください。手術中のご家族の待機場所を看護師にお知らせください。一度病院から離れる場合は、看護師にお知らせください。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。


人工膝関節置換術 火曜日手術 患者さんパスシート(No.3)

氏名		診療科名	整形外科			
		入院予定期間	年	月	日	
月日	/					
経過	2日目 手術当日(手術後)					
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みや苦痛が強い場合は看護師に伝えましょう。 ・深部静脈血栓症を予防するための足の運動を行いましょう。 					
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・術後点滴と抗生剤の点滴を行います。 ・酸素投与のため、マスクをつけます。 					
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・手術後、薬は飲みません。 					
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・手術室でレントゲン検査があります。 ・帰室後、採血があります。 					
処置	<ul style="list-style-type: none"> ・深部静脈血栓症の予防のため足にマッサージの機械を付け、弾性ストッキングも継続して履きます。 ・手術直後から患肢を枕で挙上しアイスノンで患部を冷やします。 					
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・血圧、脈拍、体温、呼吸状態、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)、足の位置(腓骨頭が圧迫されていないか)、足首の背屈運動の有無などを決められた時間まで1時間毎に観察します。 					
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドで安静にしますが、60°まで体を起こすことができます。 ・左右に体の向きを変えることができます。看護師が介助します。 					
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・顔を拭く、うがい、歯磨きなどお手伝いします。 					
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・食事はできません。 ・酸素終了し状況を確認後、水分を摂ることができます。 					
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・手術後、点滴やドレーンを誤って引っ張らないよう注意しましょう。 ・腓骨神経麻痺予防のため、腓骨頭(膝の外側にある突起)を圧迫しないよう注意しましょう。 <u>挙上用枕から患肢が落ちた場合、足首にしびれや違和感、動かしにくさを感じた場合は、すぐに看護師に伝えましょう。</u> ・ベッドにいる時は血栓予防のため、足首の運動を行いましょう。 ・痛みが強い場合には我慢せず看護師にお知らせください。 					

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。



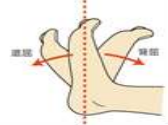
人工膝関節置換術 火曜日手術 患者さんパスシート(No. 4)

氏名		診療科名	整形外科		
		入院予定期間	年	月	日

月日	/				
経過	3日目 術後1日目				
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 膝を曲げるリハビリを看護師と一緒に始めましょう。 介助のもと、端坐位、立位、車いす移乗のリハビリをしましょう。 転倒予防について理解しましょう。 痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 深部静脈血栓を予防するために足の運動をしましょう。 				
治療	<ul style="list-style-type: none"> 朝、夕方に抗生剤の点滴をします。本日で終了です。 患肢を枕で挙上しアイスノンで冷やします。 				
薬	<ul style="list-style-type: none"> 以前から内服していた薬は医師が確認後再開となります。 朝と夕食後、痛み止めの内服薬が処方されます。 血栓予防のため、夕食後から抗凝固薬が始まります。 痛みが強いときは追加でできますので、看護師にお知らせください。 				
検査	<ul style="list-style-type: none"> 朝食前に採血をします。 				
処置	<ul style="list-style-type: none"> お小水の管を抜きます。 膝に入っている管は状況を見て抜く予定です。 				
観察	<ul style="list-style-type: none"> 血圧、脈拍、体温、呼吸状態、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)、足の位置(腓骨頭が圧迫されていないか)、足首の背屈運動の有無について観察します。 				
活動	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子へ移動する練習をします。 病室で膝を曲げるリハビリを開始します。 				
食事	<ul style="list-style-type: none"> 朝食より食事が始まります。 				
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 体を拭くお手伝いをします。 				
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 痛み止めや抗凝固薬の内服方法について、薬剤師から説明があります。 術後の転倒予防について説明します。 深部静脈血栓症予防のため <ol style="list-style-type: none"> ①水分を多めに摂りましょう。 ②足首の運動をしましょう。 ③ストッキングやフットポンプは主治医の許可がでるまでは装着します。 理学療法士からリーフレット(別紙2)を使用し「自主トレーニング」の説明があります。 痛みが強い場合には我慢せず看護師にお知らせください。 				

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。




人工膝関節置換術 火曜日手術 患者さんパスシート(No.5)

氏名			診療科名	整形外科		
			入院予定期間	年	月	日
			年	月	日	
月日	/		/			
経過	4、5日目 術後2、3日目		6日目 術後4日目			
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 平行棒、歩行器歩行のリハビリを始めましょう。 CPM（関節可動域訓練）0°~120°を1時間目標としましょう。 転倒予防について理解しましょう。 痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 深部静脈血栓を予防するために足の運動をしましょう。 					
治療	<ul style="list-style-type: none"> 患肢のふくらはぎに枕を置き、膝を伸展させアイスノンで冷やします。 					
薬	<ul style="list-style-type: none"> 朝と夕食後、痛み止めの内服薬が処方されます。 痛みが強いときは追加でできますので、看護師にお知らせください。 					
検査	ありません。		<ul style="list-style-type: none"> 朝食前に採血があります。 			
処置	<ul style="list-style-type: none"> 膝の管は排液量をみて抜きます。 		ありません。			
観察	<ul style="list-style-type: none"> 血圧、脈拍、体温、呼吸状態、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)、足の位置(腓骨頭が圧迫されていないか)、足首の背屈運動の有無について観察します。 					
活動	術後2日目より <ul style="list-style-type: none"> 車椅子移乗、平行棒、歩行器を使用しリハビリを開始します。 病室で膝を曲げるリハビリ（関節可動域訓練）を継続します。 					
食事	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 					
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 体を拭くお手伝いをします。 					
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 術後、行動範囲が広がっている最中は転倒の可能性が高いため、転倒予防について説明します。 深部静脈血栓症予防のため <ol style="list-style-type: none"> ① 水分を多めに摂りましょう。 ② 足首の運動をしましょう。 ③ ストッキングやフットポンプは主治医の許可がでるまでは装着します。 理学療法士よりリーフレット(別紙2)を使用し、自主トレーニングの説明を加えながらトレーニングを行います。 膝関節運動機能回復のため、リーフレット(別紙4)を使用し一緒にを行います。 痛みが強い場合には我慢せず看護師にお知らせください。 					

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

人工膝関節置換術 火曜日手術 患者さんパスシート(No.6)



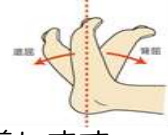
氏名		診療科名	整形外科		
		入院予定期間	年	月	日

月日	/	
経過	7、8日目 術後5～6日目	9日目 術後7日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 歩行器を使用したリハビリを継続しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 杖歩行によるリハビリを開始しましょう
	<ul style="list-style-type: none"> CPM（関節可動域訓練）0°～120°を1時間目標としましょう。 転倒予防について理解しましょう。 痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 深部静脈血栓を予防するために足の運動をしましょう 	
治療	<ul style="list-style-type: none"> 患肢のふくらはぎに枕を置き、膝を伸展させアイスノンで冷やします。 	
薬	<ul style="list-style-type: none"> 朝と夕食後、痛み止めの内服薬が処方されます。 痛みが強いときは追加でできますので、看護師にお知らせください。 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> ありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食前に採血を行います。 午前中にレントゲン撮影を行います。
処置	<ul style="list-style-type: none"> ありません。 	
観察	<ul style="list-style-type: none"> 血圧、脈拍、体温、呼吸状態、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)、足の位置(腓骨頭が圧迫されていないか)、足首の背屈運動の有無について観察します。 	
活動	<ul style="list-style-type: none"> リハビリ室で歩く練習を継続して行います。 病室で膝を曲げるリハビリ（関節可動域訓練）を継続します。 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 体を拭くお手伝いをします。 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 	
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 術後、行動範囲が広がっている最中は転倒の可能性が高いため、転倒予防について、説明します。 深部静脈血栓症予防のため <ol style="list-style-type: none"> ①水分を多めに摂りましょう。 ②足首の運動をしましょう。 ③ストッキングやフットポンプは主治医の許可がでるまでは装着します。 術後7日目頃にベッド上で行う筋カトレーニング（別紙3）を使用し理学療法を行います。 膝関節運動機能回復のため、リーフレット(別紙4)を見ながら実施しましょう。 痛みが強い場合には我慢せず看護師にお知らせください。 	

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

人工膝関節置換術 火曜日手術 患者さんパスシート(No.7)




氏名		診療科名	整形外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	10~11日目 術後8~9日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 杖歩行のリハビリを継続して行いましょう。 CPM（関節可動域訓練）0°~120°を1時間目標としましょう。 転倒予防について理解しましょう。 痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 深部静脈血栓を予防するために足の運動をしましょう。 
治療	<ul style="list-style-type: none"> 患肢のふくらはぎに枕を置き、膝を伸展させアイスノンで冷やします。
薬	<ul style="list-style-type: none"> 朝と夕食後、痛み止めの内服薬が処方されます。 痛みが強いときは追加でできますので、看護師にお知らせください。
検査	<ul style="list-style-type: none"> ありません。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 創部の状態を観察し適宜消毒ガーゼ交換を行います。
観察	<ul style="list-style-type: none"> 血圧、脈拍、体温、呼吸状態、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)、足の位置(腓骨頭が圧迫されていないか)、足首の背屈運動の有無について観察します。
活動	<ul style="list-style-type: none"> 病室で膝を曲げるリハビリ（関節可動域訓練）を継続します。 杖歩行のリハビリを継続して行い、理学療法士と一緒に少しずつ、安全に歩行距離を延ばしていきましょう。 
食事	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 術後8日目より、創部を濡れないようにカバーレシャワー浴ができます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 術後、行動範囲が広がっている最中は転倒の可能性が高いため、転倒予防について、説明します。 深部静脈血栓症予防のため <ol style="list-style-type: none"> ①水分を多めに摂りましょう。 ②足首の運動をしましょう。 ③ストッキングやフットポンプは主治医の許可がでるまでは装着します。 膝関節運動機能回復のため、リーフレット(別紙4)を見ながら実施しましょう。 痛みが強い場合には我慢せず看護師にお知らせください。 

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

人工膝関節置換術 火曜日手術 患者さんパスシート(No.8)



氏名		診療科名	整形外科		
		入院予定期間	年	月	日

月日	/	
経過	12日目 術後10日目	13~15日目 術後11~13日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 杖歩行による階段昇降を開始しましょう。 CPM（関節可動域訓練）0°~120°を1時間目標としましょう。 転倒予防について理解しましょう。 痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 深部静脈血栓を予防するために足の運動をしましょう 退院後の生活をイメージしましょう。 	
		
治療	<ul style="list-style-type: none"> 患肢のふくらはぎに枕を置き、膝を伸展させアイスノンで冷やします。 	
薬	<ul style="list-style-type: none"> 朝と夕食後、痛み止めの内服薬が処方されます。 痛みが強いときは追加でできますので、看護師にお知らせください。 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 朝食前に採血があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません。
処置	<ul style="list-style-type: none"> ありません。 	
観察	<ul style="list-style-type: none"> 血圧、脈拍、体温、呼吸状態、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)、足の位置(腓骨頭が圧迫されていないか)、足首の背屈運動の有無について観察します。 	
活動	<ul style="list-style-type: none"> 病室で膝を曲げるリハビリ（関節可動域訓練）を継続します。 杖を使用した、階段昇降のリハビリを追加して行いましょう。 理学療法士と一緒に少しずつ、安全に歩行距離を延ばしていきましょう。 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワーを浴びることが出来ます。 	
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 行動範囲が広がっている最中は転倒の可能性が高いため、転倒予防について、説明します。 深部静脈血栓症予防のため ①水分を多めに摂り②足首の運動をしましょう。 ③ストッキングやフットポンプは主治医の許可がでるまでは装着します。 退院後の注意点について、リーフレット(別紙5)を使用し説明します。 日常生活に関する注意点、心配や不安なことがある場合は遠慮なくお尋ください。 	
 		

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

人工膝関節置換術 火曜日手術 患者さんパスシート(No.9)

氏名	診療科名	整形外科		
	入院予定期間	年	月	日

月日	/	
経過	16日目 術後 14日目	17~19日目 術後 15~17日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 杖歩行での階段昇降と屋外でのリハビリを開始しましょう。 CPM（関節可動域訓練）0°~120° を1時間目標としましょう。 転倒予防について理解しましょう。 痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 深部静脈血栓を予防するために足の運動をしましょう。 退院後の生活をイメージしましょう。 	
治療	<ul style="list-style-type: none"> 患肢のふくらはぎに枕を置き、膝を伸展させアイスノンで冷やします。 	
薬	<ul style="list-style-type: none"> 朝と夕食後、痛み止めの内服薬があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝夕食後に定期的に内服していた痛み止めと抗凝固剤は一旦中止になります。 痛みがある場合はお知らせください。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 午前中にレントゲンがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ありません。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 傷口の糸を外します。 	<ul style="list-style-type: none"> 創部の状況を観察し、必要時ガーゼ交換します。
観察	<ul style="list-style-type: none"> 血圧、脈拍、体温、呼吸状態、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)、足の位置(腓骨頭が圧迫されていないか)、足首の背屈運動の有無について観察します。 	
活動	<ul style="list-style-type: none"> 病室で膝を曲げるリハビリ(関節可動域訓練)を継続します。 杖を使用し屋外での歩行訓練を行っていきましょう。 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワーを浴びることが出来ます。 	
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 行動範囲が広がっている最中は転倒の可能性が高いため、転倒予防について、説明します。 深部静脈血栓症予防のため <ul style="list-style-type: none"> ①水分を多めに摂りましょう ②足首の運動をしましょう。 ③ストッキングやフットポンプは主治医の許可がでるまでは装着します。 退院後の注意点についてリーフレット(別紙5)を使用して説明します。 日常生活に関する注意点、心配や不安なことがある場合は遠慮なくお尋ください。 保険などの書類は、退院日に本館1階 Aブロックの受付窓口に提出してください。(受付窓口は平日、土曜のみ利用可能です。) 	

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。